

「令和2年7月豪雨」被害へのお見舞い

全日本中学校長会会長 三田村 裕

梅雨前線の活発化に伴う「令和2年7月豪雨」により、西日本を中心に全国の幅広い地域で洪水や土砂災害等の甚大な被害が発生し、多くの人命が失われ、行方不明者も多数に上っております。

命を失われた方々のご冥福をお祈りするとともに、被害に遭われた皆様及び関係各位に心よりお見舞い申し上げます。

また、施設への物的被害の生じた学校、生徒の安全確保や避難所運営等のために休校又は授業の短縮を行っている学校はかなりの数に上っており、学校再開後、新しい生活様式の実践をしつつ本来の姿を取り戻そうと懸命な努力を続けてきた中で大きな打撃です。

こうした状況を踏まえ、全日本中学校長会としましては、全国の中学校及びその教育に関わる被害についての把握を行うとともに、地区から寄せられる情報やご意見を基に、全日中としての支援の在り方を検討してまいります。

厳しい状況の中で、様々な対応に尽力されている会員の皆様に深く敬意を表するとともに、一日も早い復旧を願っております。